

これまでいただいた主なご意見及びその対応

No	分野	ご発言者	ご意見	対応	該当 ページ
1	戦略案への 要望	杉本委員	以下の 3 箇所について、市川市ならではの内容にすべき。 ・図 2-1 のイラストについて、森を梨の果樹園にしたり、海を行徳のノリ養殖、てんとう虫をスズムシにする等、市川らしさをもっと出していくべき。 ・表 2-3 の第 1、第 3 の危機の説明が一般的であるため市川市ならではの内容にするべき。 ・図 2-3 のイラストでスイカ畑を荒らすアライグマになっているが、スイカではなく市川市としてローカライズしていくべき。	・ご指摘を参考にイラストを修正しました。 ・第 3 の危機の説明に市川市ならではの部分を追記しました。 ・市で多く見られる条件付特定外来生物のアメリカザリガニに関連するイラストに修正しました。	7,9,10
2	戦略案への 要望	とくたけ 委員	図 2-1 の海のイメージ、森の姿はこれでいいのか、森というより里ではないか。	海については行徳地区のノリの養殖を、また森については大町公園のように木々が生い茂っているイラストに修正しました。	7
3	施策内容		優良農地、都市公園の整備、市街地緑地の保全、園芸植物やペットの適切な管理と飼育、市民ボランティアへの支援が施策の中からなくなっているがいいのか。	優良農地、都市公園の整備、市街地緑地の保全、市民ボランティアへの支援については施策内容に記載しました。 ペットの適切な管理については、施策内容「外来生物の拡散防止」の中の取り組み内容に記載しました。	45,46,47
4	施策内容		自然共生サイトに注力するのもいいが、都市部での開発の中で自然が失われないよう、緑地を作っていくなど貴重な自然の保全も忘れないでいただきたい	都市部を含む市内全域で緑地を増やしていく施策を設定しています。	45
5	施策内容	熊谷会長	一次戦略で目標達成している施策のうち、二次戦略では削除しているものはあるのか。	一次戦略の全ての施策を、二次戦略内の施策内容および指標に含んでおります。	—
6	施策内容		評価指標も示していくのか。	評価指標を示しました。	50,51

No	分野	ご発言者	ご意見	対応	該当 ページ
7	施策内容	杉本委員	市川市は国が掲げている 30by30 より高みを目指した 31%とするのはどうか。	市の面積に対し、30%以上を保全するには約 16.9 km ² 以上が必要になるが、実情として市域で 30%は非常に 厳しい状況であるため、まずは 30%達成を目指した施 策を設定しました。	—
8	一次戦略	新井委員	No33 の指標「温室効果ガスの市内における排出量」の 評価は B でいいのか？	基準年度(2014 年度)の 3,129.6 千 t-CO ₂ に対して 減ってはいるものの、当初想定していた削減量の目標値 よりは少ないということで、評価は B としました。	—
9	市川市の課 題	山中委員	アライグマもいいがハクビシンも防除をしているなど取 り組みを列挙していくべき。	特定外来生物であるアライグマに対して、ハクビシンは 外来生物であることから、必ずしも駆除しなければなら ないという規制はありません。今後被害が大きくなるの であれば対策を加えていく必要がある一方、外来生物も 含めて共存する必要があるという考え方もあるため、今 後の取組の参考にさせていただきます。	—
10	市川市の課 題	とくたけ 委員	捕獲したアライグマは駆除しなければならないのではな く、防除目的であれば飼育することも認められる可能性 はあるという認識である。	外来生物も含めて共存する必要があるという考え方 もあるため、今後の取組の参考にさせていただきます。	—
11	水環境	西原 副会長	市長から話のあった水環境の改善、浄化について記載が ないが、水の浄化、水辺であそべる親水機会の増加、どち らに主眼をおくのか。	親水機会を増やすために、水環境を整備するという考え 方で進めており、2030 年までの短期目標および施策 に追加しました。	43,45
12	水環境	道下委員	みずアドバイザー（環境活動推進員）は水質改善に貢献し ており、春木川はきれいになった。親水機会を増やせるよ うな街を作るという認識で間違いはないか。	間違いありません。今以上に水を綺麗にして、昔のよう に川で遊べるような環境を整えることを目的としてい ます。	—